



わかむぎ

No. 8 令和6年11月19日 <発行: 校長 池田 尚>

ふるさとふれあい祭り ~押中生の活躍!~

10月13日(日)の昭和町ふるさとふれあい祭りには押原中学校の生徒が、さまざまな部門でたくさんの活躍を見せてくれました。メインステージでは、開会式の後、吹奏楽部の演奏があり、会場はたいへん盛り上がりました。3年生が引退し、1,2年生のみになった新チームでの大舞台でしたが、堂々とした演奏を披露してくれました。その



他、地域クラブであるダンス部の発表、そしてサブステージでは、生徒会主催のダンスフェスティバルがおこなわれ、押原中学校からたくさんの生徒がエントリーしていました。さらには、高生連のボランティアや、盲導犬ボランティアなどにも多くの生徒が

参加し、押原中生が大活躍のふるさとふれあい祭りとなりました。押原中学校は「地域とともにある学校づくり」を強力に推し進めています。押原中学校の生徒が地域の中でたくさん活躍し、また、地域の方々と一緒に触れ合っていければと思います。



生徒会役員による司会です



生徒会役員も一緒にダンス



ダンス部のパフォーマンス



高生連のボランティア おいしい綿菓子

認知症サポーター養成講座

10月22日(火)に2年生で「認知症サポーター養成講座」がおこなわれました。町の地域包括支援センターのみなさんが来て下さり、認知症について詳しく説明をしていただきました。

多くの生徒が真剣に話を聞き、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対してどんな風に接するべきなのか、考える機会となりました。



音楽鑑賞会♪ ～フルートとピアノの共演～

10月28日（月）には、音楽鑑賞会がありました。今年は、フルート奏者のマリオ・ブルーノさんと矢野正浩さん、ピアノ奏者の小林侑奈さんの3名が来て下さり、全校の前で演奏をしてくださいました。

3名とも世界的に活躍している方たちで、このような素晴らしい方々の演奏を生で聴くことができるのは貴重な機会でした。

演奏終了後、吹奏楽部でフルートを担当していた中村祐希菜さんに感想を聞いたら、「演奏の素晴らしさに震えちゃいました～」とのことでした。大変有意義な音楽鑑賞会となりました。



後期学級役員認証式

10月11日（金）は中間テストがありました。日頃から学習に一生懸命に取り組んでいる成果を発揮し、生徒のみなさんは頑張っていました。

テストの後、後期学級役員認証式がおこなわれました。学級役員となった生徒は呼名を受け、返事をしていきますが、どの学年の学級役員も素晴らしい返事で、後半の学級活動を意欲的に引っ張っていこうという意思が感じられました。その後、各学年の代表がそれぞれ認証書を受け取りました。



本の読み聞かせ ～文学の世界に引き込まれます～

10月29日（火）には、1年生の朝読書の時間にボランティア団体「ふくらすずめ」さんのみなさんが来て下さり、読み聞かせをおこなってくださいました。

10月27日～11月9日までの「読書週間」において生徒のみなさんの読書への興味関心の向上を目指すための取り組みの一環です。

今回は、井伏鱒二の『山椒魚』の読み聞かせでした。

読み手のみなさんが朗読を始めると、そこには山椒魚が住む水の中の岩屋の情景が広がります。文学の世界に生徒たちは引き込まれ、山椒魚とカエルのやり取りや、「深いため息」の意味などを自分なりに考え、感じていたようです。



アフリカ飢餓救援活動

生徒会本部と福祉委員会が協力してアフリカ飢餓救援活動をおこないました。

お米、陸稲、募金を募集し、毎朝玄関で活動し、多くの生徒のみなさんに協力していただきました。

